

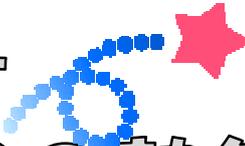
当日版!



# いけませかわらばん 第1号

2011年7月30日 いけませ夏フェス in 千歳現地実行委員会 発行

## 曇天を吹き飛ばす ボランティアの熱気



東北地方に豪雨のニュースが流れる朝、千歳市はどんよりと曇った朝になりましたが今年もここ千歳でいけませ夏フェスタが開催されます。

千歳市は朝からどんよりし霧雨が少し降る天気でしたが、千歳市開基記念総合武道館周辺では全道集まってきたボランティアの熱気で曇天もどこかに行ってしまうような様子です。

朝早くから準備を進めてきたボランティアの人たちも、「初めての参加です。着ぐるみ隊のお手伝いをします。私も楽しみです。」(千歳市・おおぬませりすさん)、「今日は看護班でがんばります。初めてなのでみんなに教わりながらがんばります。」(岩見沢市・みつもりすみこさん)



## 全道から続々 参加者が集合



(この項写真は木村美貴子記者)

午前11時頃から会場となった千歳市総合武道館には全道から参加者が集まりはじめました。

稚内市から10回以上の参加というますだゆかさんのお母さんは「少しでもお手伝いできれば・がんばります」と抱負を語ってくれました。

苫小牧市から参加のよこやまとうまくんは「初めての参加です。いろいろな方のお手伝いと交流ができれば」と意気込みを見せてくれました。千歳市のいんどうかずまささんは「家族全員で参加しています。自分は与えられた仕事を一生懸命がんばりたいです」、みやかわともこさんは「初めての参加です。かんりんばのきれいな音を聴いていただき少しでも癒やされてほしい」などと語ってくれました。

# 今年もやるぞ未来のため・・・つなぎたい 高橋実行委員長のあいさつ

ボランティアさんの昼食も終わり、参加者もほとんど集まった午後1時、体育館で今年のオープニングセレモニーが始まりました。

開会の前に、高橋実行委員長はこの7月に急逝した柏葉恭延さんに触れ、「いけまぜと一緒に創ってきた家族を失った、片腕が亡くなってしまった」と述べ、参加者全員で黙祷を捧げました。

最初にあいさつに立った現地実行委員会の増森芳美さんは「1, 300名を超える参加者・ボランティアをお迎えし、開催することができ、ほっとしています。



天候も何とか持ちそうなので、思いっきり楽しんで行ってほしい」とあいさつをしました。

また、山口千歳市長は「友達を作り交流を深めていって欲しい。千歳で開催していただき本当にありがとうございます」と感謝のあいさつをしました。

そして参加者全員で「いけまぜの歌」を高らかに大合唱しました。

この後、千舞泉美太鼓の「やまびこ」の演奏などがステージで披露されました。



当日版!



# いけまぜかわらばん 第2号

2011年7月30日 いけまぜ夏フェス in 千歳現地実行委員会 発行

## いっせいにポイントラリー開始!



オープニングセレモニーが終わり、みんなはいっせいに武道館のアリーナやグランドなどへ飛び出していきました。ポイントラリーの始まりだ。

バルーンフィッシング、風車、折り紙、布の絵本、スポーツチャンバラなど多くのゲームにチャレンジしようと参加者は張り切って出て行きました。



たなかまいさん(むかわ町)は沖縄の衣装を身につけ「母はボランティアですが、私は別行動しています」、とりやべしょうたさん(千歳市・初参加)は「近くなので歩いてきました。手形をしてきました」と大きな手を出してくれました。かわたともかさん(旭川市・2回目)は「スタンプラリー楽しみです。いっぱい集めます」、おかしまいつきさん(室蘭市・何回も参加)は「ハンモックが大好きです。」、なかじましょうたくん(苫小牧)は「シャボン玉が上手にできました。」などとスタンプラリーに一生懸命チャレンジしている様子を元気いっぱい語ってくれました。



また、武道館の中ではお母さんたちも楽しんでいました。エステの抽選に見事に当たったさのゆきこさん(札幌市・5回目)は「エステができて幸せ、(抽選に)当たってよかった」と喜びを語ってくれました。



エステを担当してくれたこすなせつこさん(多数回参加)は「お母さんたちから元気をもらって幸せです。私のエステでさらに元気になって欲しい」と抱負を語ってくれました。

このほか会場ではフットマッサージや口腔ケアのブースが設けられ、参加者がそれぞれ関心のあるブースに詰めかけ真剣に相談などを受けている光景が見受けられました。





# ばんごはんはまかせなさい

今年の晩ご飯は自衛隊のおじさんたちの手作りです。東千歳の駐屯地から35名もの大勢のおじさんやおねえさんたちがわざわざ、ご飯を炊いたりカレーを作ることのできる炊事車を持ってきてくれました。カレーを作ってくれた自衛官のおおたあきこさんは「朝から準備しました。おいしく食べて欲しい。喜んでもらえたらとてもうれしい」と語ってくれました。

また、ご飯を炊いてくれた自衛官のおじさんは「全部で 140 キログラムのご飯を炊きました。もちろん炊きあがりにはバッチリです」。炊きあがったご飯はほっかほかの湯気が上がりとってもおいしそうでした。これだけのご飯が夕食ではあっという間にみんなのおなかの中に入ってしまいうんですね。



当日版!



# いけまぜかわらばん 第3号

2011年7月30日 いけまぜ夏フェス千歳現地実行委員会 発行



今年のいけまぜ夏フェスの夕食はカレーライスです。地元のお母さんたちが下ごしらえをした材料を使って自衛隊のおじさんたちが大汗を流しながら作ってくれた快心作のカレーです。盛りつけをしてくれた地元ボランティアのおばさんたちも大忙し。おかわりする子もいるなどカレーはあっという間に売り切れました。



こののかよこさん(千歳市・初めて)は「とってもおいしいです。化石レプリカのお手伝いをしましたが、子供たちにとっても喜んでもらいとてもうれしかったです」、やまだゆきさん(遠軽町・5回目)は「調理のお手伝いは初めてでしたが、子供をボランティアさんに預けてがんばっています。きっとおいしいと思ってもらえます」と話してくれました。

参加者やボランティアは会場の芝生に車座になって座ったり、用意されたテーブルに座るなど思い思いのスタイルで夕食を楽しみました。

夕ご飯を食べ終わると、バイオリンの演奏が披露されたり、芝生ではヨサコイソーランが踊られ、その後、今、大流行のマルマルモリモリのダンスが全員で踊られました。

日もどっぴりと暮れ始めた頃、武道館隣の青空公園に花火を楽しもうと、参加者がそろそろと移動を開始しました。

さあ、今年の花火はどんなのかな?



## ご飯を食べたら花火だぞ

# 今日の日...楽しい思い出



当日版!



# いけまぜかわらばん 第4号

2011年7月31日 いけまぜ夏フェス in 千歳現地実行委員会 発行



夕食が終わる頃にはそれまで生暖かった風も少し冷たさを増していきました。青空公園に集まった参加者が今か今かと花火が打ちあがるのを心待ちにしていたのですが、なかなか始まりません。そうすると誰かが大きな声で「はなびー」と言ったとたん夜空に大輪の花火が打ちあがり始めました。



次々と打ち上がる大輪の花火が咲くたびに青空公園に集まった人や武道館の前にいた人たちから「ワー きれい!」「ウワー スンゲー」などの大きな歓声や拍手がわき上がっていました。曇り空ながら風も見方をしてははっきり・くっきりと花火が咲いてみんなの大きな歓声が花火大会の最後まで響き渡っていました。

## さあ一寝る準備はできたかな

花火が終わると今日のイベントは全て終了。残念ながらお泊まりができずに既に家路についた参加者も多く、花火大会から戻ってきた参加者は、布団の準備をしたり、顔を洗ったり、歯を磨いたりなど、今日一日の楽しい思い出を胸にしまい込んで消灯の時間を待っていました。富岡中に泊まった参加者の中には興奮してなかなか寝付けない子もいたり、早々と眠りについてしまった子もいました。今晚はどんな夢を見るのかな

さあ、明日の朝、みんなでラジオ体操をするぞ!!



しっかりと花火を楽しんだ後は、お休みの時間。一日の思い出を振り返る暇もなく眠りについたら子供も多かったことでしょう。ただあいかさん（美幌町・3回目）は「あつくもなくよく眠れました」。

高橋先生は宿泊場所となった各学校を回って「起きろ！武道館でラジオ体操だ」と大きな声をかけて各教室を回りました。

しおりさん（苫小牧市・6回目）は「よく眠れました。ラジオ体操と運動会をがんばります」、あゆみさん（古平町・12回目）は「天国おじいちゃんの夢を見ました。おじいちゃんのために運動会をがんばります」、ともかさん（旭川市・2回目）は「昨日はみんなの前でバイオリンを弾きました。やっぱり今日は運動会です」、かとうあゆみさん（札幌市・初めて）は「とってもよく眠れました。今日も参加者と一緒になって楽しめればよいなと思っています」などと今日一日の抱負などを語ってくれました。



## 朝はラジオ体操から



## 朝ご飯は豪華メニューだ



朝ご飯は、三種類のパンとバナナとウィンナーとジュースの豪華メニューです。準備をしてくれたのざわしのぶさん（千歳市・初めて）は「朝6時から準備をしてきました。きっとおいしく食べてもらえると思います」と自信のほどを語ってくれました。

ささきかずひささん（北広島市・初めて）は「夜は友達と遅くまでしゃべっていました。おいしいけれども量が足りないかも・・・」、つかだまいさん（札幌市・3回目）は「バナナ半分だけでもおなかいっぱいです」、よしだみゆさん（小樽市・初めて）は「パンよりご飯が好きなんですけど、今日のパンはとってもおいしいです」、さとうかずきさん（江別市・初めて）は「ウィンナーおいしいー。運動会でがんばるんだ」、しらさわゆうとさん（札幌市・初めて）は「おいしいパンをたべて、運動会がんばります」などと朝ご飯の感想と今日一日の抱負を語ってくれました。

当日版!



# いけまぜかわらばん 第5号

2011年7月31日 いけまぜ夏フェス in 千歳現地実行委員会 発行

## アリーナで運動会の始まりだ

運動会はアリーナで開催されました。運動会開催をお知らせするアナウンスにつられて参加者が続々とアリーナの中に集まってきました。

運動会は札幌のチェアフラダンスサークルのウルパラグアイという牛飼いのダンスで始まりました。

色のついたカードでチーム編成が行われ、地元の応援団が各チームに応援のエールを送り、いよいよ競技のスタートとなりました。競技はボールを使ったリレーから始まり、玉入れまで参加者は汗びっしょりになりながらゲームに奮戦しました。



## いろいろなイベント楽しんでいただきましたか 増森代表実行委員長

今回の夏フェス現地実行委員会の増森芳美委員長は、千歳でこの夏フェスを開催したことについて「ポイントラリーなどに参加したり、食事を楽しくとっていただけただけでしょうか。千歳の皆さんと一緒にこのいけまぜを作り上げることができました。本当に参加をいただきありがとうございました。」と参加者にお礼の言葉を述べました。

# いよいよ今年のフィナーレ

## 来年もまたお会いしましょう

参加者に修了証が配られた後、フィナーレは高橋いけまぜ実行委員長の司会で始まりました。

ニワトリクラブを代表してまえかわきょうこさんが「皆さん今年のいけまぜはどうでしたか、至らない点もあったかもしれませんが、それがいけまぜだと思ってください」。増森実行委員長は「多くの人たちに協力してもらったことが本当にうれしかった」楽しんでいただけましたか」とあいさつしました。



参加者一人一人がいろいろな思い出を作って今年のいけまぜが終わりました。フィナーレの会場では楽しかった思い出をより強く心に残すため全員で記念写真を撮影し来年の再会をお互いに誓い合いました。

帰り支度を済ませた参加者はそれぞれバスや自家用車で家路につきました。



## 次期開催地はむかわ町です

来年のいけまぜ夏フェスはむかわ町が会場となります。千歳の実行委員会からむかわ町のたなかはるみさんにいけまぜの旗が渡されました。

たなかさんは「ししゃもとメロンの町むかわです。準備をして待っています。来年も元気に再会しましょう」と語ってくれました。そういえばたなかさんはこんなことも言ってました。「むかわにきた参加者にはみんなにノーベル賞が与えられます」と。



## 来年、むかわ町で再会しましょう・・・!

